

西日本新聞

九州の人と四季に密着した
山歩き専門誌
季刊のぼろ
書店で好評発売中 ●出版部

2016年
11月20日
(日曜日)

医療機能評価機構 第1号認定病院
福岡県認知症医療センター
神経精神科 内科 (15テラ・MP 完備)
西宮桜花駅前
〒800-0003 福岡市東区西宮
TEL:092-681-5255
FAX:092-681-5256
http://www.mak.or.jp

1月に留学生就活サイト

の仮設の台を設け、周りを一 宿願県15日計から来た県

県で行われる留学生向けのイベント情報や、就職した留学生OBの仕事ぶりを紹介したコーナーもある。
運営は7県と九州経済産業局、九州経済連合会が中心

世界最高峰のヨットレース「アメリカスカップ」(アメリカ杯)の前哨戦となるワールドシリーズ福岡大会は19日、1日目のレースを福岡市中央区地行浜の神の博多湾で行った。地行浜

TAO×竹田

文化芸術は街を元気にする!

現在、TAOは国内外で年間300回を超える公演を二つのグループで行い、年間の観客動員数は50万人にも及ぶ。正しく日本を代表する芸能集団へと昇華した証しに思う。

身が引き締まる思いだが、その超多忙なスケジュールの中で、次なる大きな夢が次々と現れてくる。ワクワク・ドキドキ・ハラハラさせる次なる夢は目標は三つ。
一つ目の夢は、世界主要20都市に1万人以上の規模のファンクラブをつくること。毎日、公演やファンイベント、日本へのツアーを計画した

り、各地の日本企業や人の橋渡しとなるネットワーカー業を展開したり、やがて20都市が地球全土を網羅するグローバルネットワークへと展開すれば面白い。
それと同時に推し進めているのが、二つ目の夢である東京での常設劇場をつくること。世界から日本を訪ねてくる外国人に最新の日本文化を見せるための施設だ。

「TAOが日本を演じる」伝統とエンターテインメントの融合を舞台で表現する。外国人観光客が名所を観光し、名物料理に舌鼓を打った後、夜はTAOの劇場で

次なる大きな三つの夢



竹田市久住町のTAOの里での日の出ライブ

ーを観る。日本を満喫し、心に残る旅を演出する。きっと世界中の話題となり、コロンビアが、このコースが定番になってくればと思う。この計画は来秋から試験的に始

久住 兼 サンデーコロン

め、翌年には本格化する予定だ。
その先にあるのが、三つ目の夢。昨年設立したTAO財団が構想中の「芸術村」と和太鼓学院」を創設すること。TAOの里のほど近い、あさみ台がTAOの丘となり、全天候の舞台を建設する。そこは、最高の大自然の中で特別な演奏を堪能できるようにする。演奏は併設する学院の生徒が担当。先月行った岡城跡でのプレミアムライブでのモデルケースとなった。

この芸術村構想をかなえるために考慮しなければならないのが、芸術村の講師や生徒の居住にだ。竹田市のど真ん中に「TAOの家をくり、アーティスト・学院生が社長、藤高郁志

18年8月から 高所得者を対象

また40、64歳が支払う保

日口首脳 きょうの会談

多湾疾走

北	長	小	山	吉	川	北	種	山	白	界	佐	丹	丹	長	月
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4

那士力士の星表

那	士	力	士	の	星	表
20	21	22	23	24	25	26